

令和5年度

道路新設改良事業（舗装）

市道戸宇受原線

道路舗装工事 仕 様 書

事業主体 広島県庄原市

施行箇所 庄原市東城町戸宇

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、市道戸宇受原線道路舗装工事に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
 - ・土木工事共通仕様書（令和5年8月 広島県）ただし、「提出」から「提示」となった事項に関して、監督職員からの請求があった場合は、提出しなければならない。
 - ・その他関連規格類

第2節 現場代理人の常駐義務の緩和

監督職員等と携帯電話等で常に連絡がとれることに加え、次に掲げるいずれかの事由に該当する場合には、建設工事請負契約約款第10条第3項に規定する「現場代理人の工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がなく、かつ、発注者との連絡体制が確保されると認めた場合」として取扱う。

- (1) 請負金額が4,000万円（建築一式工事にあっては、8,000万円）未満
- (2) 契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間
- (3) 建設工事請負契約約款第20条第1項又は第2項の規定により、工事の全部の施工を一時中止している期間
- (4) 橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間
- (5) 前3号に掲げる期間のほか、工事現場において作業等が行われていない期間
- (6) その他、特に発注者が認めた期間
- (7) 平成30年11月1日付「災害復旧工事における特例措置」の期間

第3節 現場代理人の兼務

- 1 受注者は、前節（1）に該当することにより現場代理人の工事現場への常駐を要しないこととされた場合であって、かつ、次に掲げる条件をいずれも満たすときは、本件工事における現場代理人について、他の公共工事の現場における現場代理人又は技術者等との兼務をすることができる。

ただし、平成30年11月1日付「災害復旧工事における特例措置」の期間にあっては、兼務制限の件数から災害復旧工事を除くこととする。

 - (1) 兼務する工事が公共工事であること
 - (2) 兼務する工事件数が本件工事を含め3件（災害復旧工事に係る件数を除く。）以内であること
 - (3) 監督職員等の求めにより、速やかに工事現場に向かう等適切な対応ができる
- 2 受注者は、前項に掲げるほか、請負金額が4,000万円以上8,000万円未満（建築一式工事にあっては、8,000万円未満）の工事で密接な関係があり、同一の建設業者が同一の場所又は、近接した場所で施工する公共工事において現場代理人又は主任技術者として配置されている期間であって、かつ、次に掲げる条件をいずれも満たすときは、本件工事における現場代理人について兼務することができる。

ただし、平成30年11月1日付「災害復旧工事における特例措置」の期間にあっては、兼務制限の件数から災害復旧工事を除くこととする。

 - (1) 同一の主任技術者による管理が認められた公共工事であること
 - (2) 兼務する工事件数が本件工事を含め2件以内であること
 - (3) 監督職員等の求めにより、速やかに工事現場に向かう等適切な対応ができる

- 3 発注者は現場代理人の兼務について、次に掲げる事由に該当すると認めたときは、兼務できないものとする。
 - (1) 兼務に関する事項で、重要な事項について虚偽の申告をし、又は重要な事実の申告を行わなかったことが判明したとき
 - (2) 著しい状況の変化により、兼務をすることが適当でなくなったとき
 - (3) その他、発注者の判断で兼務をすることが適当でなくなったとき
- 4 重要な事項について虚偽の申告を行う等、不適切な申請を行った者、又は、兼務後に重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠った者に対しては、請負契約に基づく是正措置の請求や指名除外等の必要な措置を行なうことがある。

第 4 節

主任技術者の配置要件等

広島県共通仕様書1-1-3-2 現場代理人及び主任技術者又は監理技術者「5. 配置要件」及び「6. 誓約書」については、入札条件又は入札公告に定める配置技術者の兼務の要件に従うこと。

第 5 節

工事関係書類の事前協議

受注者は、「土木工事書類作成マニュアル（案）令和2年11月 広島県」に記載のある「2 工事関係書類一覧」に基づき、工事着手前に、工事書類の電子又は紙による提出又は提示方法を監督員と事前協議し決定する。ただし、出来形管理図表・品質管理表・工事写真の提出又は提示方法については、紙に変更できるものとする。

第 6 節

工事中情報共有システム

- 1 本工事は、受注者からの申し出により監督員が承諾した場合には、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより業務の効率化を図る工事中情報共有システムを利用することができる。なお、利用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」に準拠する。
- 2 本工事で使用する工事中情報共有システムは次とする。
広島県工事中情報共有システム
<http://www.doboku.or.jp/koujijyouhoushisutemu2.html>
- 3 監督員及び受注者が使用する工事中情報共有システムのサービス提供者との契約は、受注者が行い利用料を支払うものとする。（システム利用にかかる費用は共通仮設費率分に含まれている。）

第 2 章 施工条件

第 1 節

安全対策

1 交通誘導員・保安要員

内 容

作業期間、交通誘導員を4人（2人/日）配置すること。

施工に当り、配置計画等を監督職員と協議すること。

交通誘導員を配置した場合、配置写真、伝票及び日報を提出すること。

第 3 章

その他

- 1 本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員の指示を受けること。
- 2 本工事における濁水の影響が想定される場合は、監督職員と協議すること。

工事概要							
工事概要	費目工種	工種	種別・細別	数量		単位	摘要
				当初	変更		
	舗装工事		L= W=	158.0		m	1工区 L=80.0m、2工区 L=78.0m
	舗装工	アスファルト舗装工	オーバーレイ 再生密粒度As13 t=3cm レベリング工 再生密粒度As13	649 2		m2 t	
	区画線工	溶融式区画線	実線 W=15cm 塗布厚1.5mm 外側線・中央線	316		m	
	仮設工	交通誘導警備員	B	4		人日	2人/日

令和 5 年度

市道戸宇受原線道路舗装工事

庄原市東城町戸宇

地内

工 事 価 格

消 費 税 相 当 額

工 事 費 計

積算情報

工事名	市道戸宇受原線道路舗装工事		
執行年度	令和 5 年度	諸経費区分	公共 令和05年度
工種区分	舗装工事	変更回数	
単価適用年月日	令和 5年10月 1日付 公共	単価地区	51:庄原市(旧総領町,旧東城町,旧高野町を除く)
機損適用年月日	令和 5年度 公共	歩掛適用年月日	令和 5年 8月 公共

補正情報

施工地域及び工事場所による補正率	共通仮設費 一般交通影響有り(2) 現場管理費 一般交通影響有り(2)
現場環境改善費	計上しない
冬期補正	冬期補正無 (0.00 %)
緊急工事補正	緊急工事補正無
前払支出割合区分	0 % ~ 5 % 以下
契約保証に係る補正	契約保証に係る補正を行わない

諸 経 費 設 定 情 報

名 称	値
【 週休2日補正 】	補正なし
【工区名称：舗装工事01】	
[共通設定]	
施工地域	一般交通影響有り(2)
前払金支出割合区分	0 % ~ 5 %以下
契約保証に係る補正	契約保証に係る補正を行わない
工事価格端数調整	千円止め
現場環境改善費計上区分	計上しない
諸経費を前回金額に固定	前回金額に固定しない
[共通仮設費]	
率指定	しない
乗算補正(*n)補正前に乗じる	0
乗算補正(*n)補正後に乗じる	0
加算補正(+n) (%)	0
施工地域補正の加重平均まるめ	小数3位四捨五入2位止め
[現場環境改善費]	
[現場管理費]	
率指定	しない
施工時期、工事期間による補正	行わない
緊急工事補正	緊急工事補正無
補正率合計値の上限(%)	0
乗算補正(*n)補正前に乗じる	0
乗算補正(*n)補正後に乗じる	0
加算補正(+n) (%)	0
施工地域補正の加重平均まるめ	小数3位四捨五入2位止め
[一般管理費等]	
率指定	しない
契約保証に係る額の対象額(円)	0
目標額(円)	0

諸 經 費 設 定 情 報

本工事費内訳書

費目・工種・種別・細目	数量	単位	単価	金額	明細単価番号	基準
舗装工事01	1	式				
舗装	1	式			Lv1	
舗装工	1	式			Lv2	
オバーレイ工	1	式			Lv3	
表層(車道・路肩部)	1	式			Lv4	
表層(車道・路肩部) 1層当り仕上厚30mm 再生密粒度アスコン(13) 平均幅員3.0m超 タックコート 締固密度2.35	649	m2			P 1号	
レベリング工	1	式			Lv4	
加熱合材補修工 2t以上5t未満	2	t			施 2号	
区画線工	1	式			Lv2	
区画線工	1	式			Lv3	
溶融式区画線	1	式			Lv4	
区画線設置 溶融式手動 実線 15cm 塗布厚1.5mm 白 昼間 時間制約無 豪雪補正無	316	m			施 3号	

本工事費内訳書

費目・工種・種別・細目	数量	単位	単価	金額	明細単価番号	基準
仮設工	1	式			Lv2	
交通管理工	1	式			Lv3	
交通誘導警備員	1	式			Lv4	
交通誘導警備員B	4	人日			施4号	
直接工事費計						
共通仮設費計	1	式				
共通仮設費(率化)	1	式				
共通仮設費率分	1	式				一般交通影響有り(2)
純工事費	1	式				
現場管理費	1	式				一般交通影響有り(2)
工事原価	1	式				
一般管理費等	1	式				金銭的保証を必要としない

本工事費内訳書

費目・工種・種別・細目	数量	単位	単価	金額	明細単価番号	基準
工事価格	1	式				
消費税等相当額	1	式				
合計						

市道戸宇受原線道路舗装工事

【 第 1 号 施工パッケージ 】							
表層(車道・路肩部) 1層当り仕上厚30mm 再生密粒度アスコン(13) (平均幅員3.0m超 ,タックコト 締固密度2.35)							1 m ² 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 領	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			1.71				
<貢>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅2.3~6.0m 排対型1,2次基準 低騒音			1.09				
<貢>タイヤローラ 質量8~20t 排対型1,2次基準 低騒音			0.17				
<貢>ロードローラ(マカダム) 質量10~12t 排対型1,2次基準			0.17				
その他(機械)							
【労務】			11.14				
普通作業員			3.99				
特殊作業員			2.29				
運転手(特殊)			2.23				
土木一般世話役			0.78				
その他(労務)							
【材料】			87.15				

市道戸宇受原線道路舗装工事

【 第 1 号 施工パッケージ 】		(続 き)						1 m ² 当り
		表層(車道・路肩部) 1層当り仕上厚30mm 再生密粒度アスコン(13) (平均幅員3.0m超 , タックコート 締固密度2.35)						
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 領	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準	
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(13)			83.67					
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用			2.75					
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油			0.61					
その他(材料)								
【端数調整】								
[条件] [J2] = 30.000 mm 1層当り平均仕上り厚			[J1] = 4 平均幅員 3.0m超					
[A1] = 11 材料 再生密粒度アスコン(13) [J6] = 1 費用の内訳 全ての費用 [A3] = 1 アスファルト混合物夜間割増 夜間割増なし			[J4] = 1 漆青材料種類 タックコート PK-4 [A2] = 1 アスファルト混合物小型車割増 小型車割増なし					

市道戸宇受原線道路舗装工事

【 第 2 号 施工単価表 】

加熱合材補修工 2t以上5t未満

1 t 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
振動ローラ運転(賃料) (舗装用)搭乗式・コンバインド型2.4~2.6t 排対型:2次基準		日				
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(13)	1	t				
諸 雜 費 (率+丸め)		%				
労務費の%						
計						
単位当たり						
[条件] [B] = 3 日当たり施工量 2t以上5t未満 [yc] = 1 アスファルト混合物夜間割増 夜間割増なし [Xc] = 3 振動ローラ規格区分 排対型:2次基準		[ya] = 1 [y1] = 4	アスファルト混合物小型車割増 小型車割増なし 加熱型混合物種別 再生密粒度(13mm)			

市道戸宇受原線道路舗装工事

【第3号 施工単価表】

区画線設置 溶融式手動 実線 15cm 塗布厚1.5mm 白
(昼間 時間制約無, 豪雪補正無)

1,000 m 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
昼間_溶融式(手動)【手間のみ】 実線_15cm 時間的制約なし 区画線工	1,000	m				
トラフィックペイント(JISK5665_3種1号) 溶融型(紺体状)ガラスビーズ含有量15~18% 白	570	kg				
ガラスビーズ(JISR3301_1号) 粒度0.106~0.850mm	25	kg				
プライマー トラフィックペイント接着用	25	kg				
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油		l				
諸 雜 費 (率+丸め)		%				
材料費の%		%				
計						
単位当たり						
【条件】						
[A] = 2 夜間作業の有無 夜間作業無		[B] = 1 施工方法区分 溶融式手動				
[GU] = 2 豪雪補正の有無 豪雪補正無		[C] = 1 規格・仕様区分 実線 15cm				
[D] = 3 時間的制約の有無 時間制約無		[E] = 1 塗布厚 塗布厚1.5mm				
[F] = 1 排水性舗装に施工する場合の補正 排水性舗装補正無		[G] = 1 未供用区間の場合の補正 未供用区間補正無				
[H] = 1 溶融式塗料規格 含有量15~18%		[I] = 3 ペイント式塗料規格 溶融式の場合				
[Q] = 1 塗料計上区分 塗料計上する		[J] = 1 塗料区分 白				
[L] = 0.000 kg・l 塗料使用量		[R] = 1 プライマー計上区分 プライマー計上する				
[K] = 1 プライマー規格 アスファルト舗装		[N] = 0.000 kg プライマー使用量				
[S] = 1 ガラスビーズ計上区分 ガラスビーズ計上する		[M] = 0.000 kg ガラスビーズ使用量				
[U] = 1 軽油計上区分 軽油計上する		[P] = 0.000 l 軽油使用量				

市道戸宇受原線道路舗装工事

【 第 3 号 施工単価表 】

(続 き)

区画線設置 溶融式手動 実線 15cm 塗布厚1.5mm 白

1,000 m 当り

(昼間 時間制約無 , 豪雪補正無)

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
[V] = 1 費用の内訳 全ての費用						

【 第 4 号 施工単価表 】

交通誘導警備員 B

1 人日 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
交通誘導警備員B		人				
計						
単位当たり						
[条件] [B] = 2 交通誘導警備員区分 交通誘導警備員B						

数 量 計 算 書
市道戸宇受原線

庄原市

集計表

市道戸宇受原線

鋪裝工

數量計算書

市道戸宇受原線

工線画區

數量計算書

市道戸宇受原線